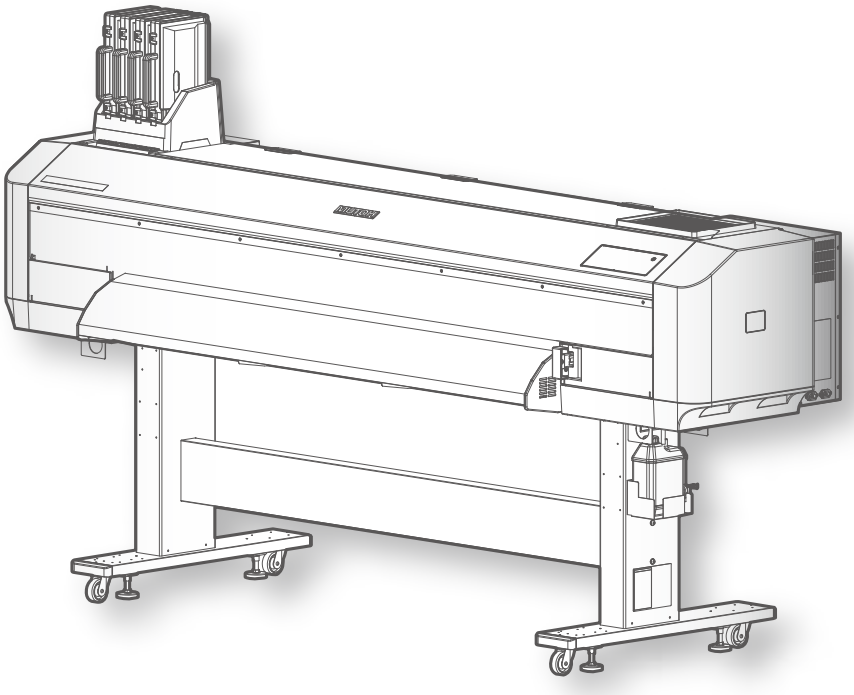
MUTOH

XPJ-1641SR-P II

スタートアップガイド

開梱と組み立て



XPJ1641SRP2J-Q-00

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- 本製品の使用方向を変えてみる
- 受信機と本製品の距離を変えてみる
- 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
VerteLith は武藤工業株式会社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。
記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- **PDF の目次や参照のリンク先に移動した後、元の場所には「Alt + ←」キーを押すと戻ることができます。**

目次

安全にお使いいただくために 5

安全表示について 5
使用上の警告と注意 6
警告ラベル 12
操作ラベル 15

設置前の確認 16

設置上のご注意 16
最小設置スペース 16
電源仕様 17
環境条件 18

開梱 19

開梱準備 19
プリンターの開梱 20
梱包の内容 21

組み立て 23

スタンドの組み立て 23
プリンターの取り付け 26
廃液タンクの取り付け 28
保護材の取り外し 29

ケーブルの接続 32

プリンターと電源コードの接続 32
イーサネットケーブルの接続 34

セットアップ 35

セットアップの流れ 35
プリンターコントロールパネルの使い方 36
Step1 初期設定 36
Step2 アクティベーション 39
Step3 初期洗浄～初期充てん 41

MSM のインストール 50

MSM のインストール方法 50

お問い合わせ先 51

安全にお使いいただくために

安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。
各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。

■ 指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
注意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ その他のマーク表示

Important!	とくに注意し、お守りいただきたい内容を示しています。
Note	補足説明や参考情報を示しています。
➔	関連した内容の参照先を示しています。

Note

安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「各部の名称・はたらき」をご覧ください。

使用上の警告と注意

異常事態が発生したときは

警告

	万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。
	異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、すぐに電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。異常がないのを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。
	インクやメンテナンス液、廃液が皮膚に付着した場合は、直ちに布などで拭き取ってください。そのあとせっけんと多量の水で洗浄してください。 皮膚に刺激があったり、炎症したりする場合は、医師の診断を受けてください。
	インクやメンテナンス液、廃液が目に入った場合は、直ちに多量の流水で 15 分間洗浄してください。目に刺激や痛みを感じた場合は、速やかに医師の診断を受けください。 そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。
	インクやメンテナンス液、廃液を飲み込んだ場合は、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。 無理に吐かせようとすると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。

製品の取り扱いについて

警告

	雷が鳴り出したら、製品に触れないでください。 感電の原因になります。
	通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 火災や感電の原因になります。
	毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと製品内部に熱がこもって、火災の原因になります。
	可動部に触れないでください。 負傷や製品の故障の原因になります。
	製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。 転倒や転落により、けがをする原因になります。
	印刷中やヒーター動作中はメディアガイドに触れないでください。 メディアガイドが高温になっていて、やけどするおそれがあります。
	製品を改造したり、ネジで固定してあるカバー類を絶対に開けないでください。 感電や製品が故障する原因となります。また製品を改造したり、分解したりすると保証の対象外になります。
	メディアガイドに可燃性の液体をかけないでください。 火災の原因となります。
	本製品内部に水気が入らないように注意してください。 電気回路がショートするおそれがあります。
	印刷終了直後はメディアガイドが高温になっています。 メディアガイドが十分に冷めてから作業をしてください。

注意

	製品を傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。 製品内部のインクが漏れる原因になります。また移動後の正常動作が保証できません。
	フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取り扱いは以下を守ってください。 • カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。突然閉まるおそれがあります。 • カバーを開けるときは、周囲の安全を十分に確認してください。周囲の物や人にぶつかるおそれがあります。

電源コードについて

⚠ 警告

	電源コードや電源プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。 電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。
	電源コードの破損や芯線の露出、断線などがみられる場合は使用しないでください。 火災や感電の原因になります。
	アース端子を電源コンセントに差し込まないでください。 火災や感電の原因になります。
	電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。 火災や感電の原因になります。
	電源タップを使用しないでください。 火災や感電の原因になります。
	アース線は、以下の場所に接続しないでください。 • **ガス管：**引火や爆発するおそれがあります。 • **電話線用アース線および避雷針：**落雷時に多量の電流が流れる可能性があります。 • **水道管および蛇口：**T 配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	必ず指定の電源コードを使用してください。 指定外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。指定品はカスタマーサポート、または販売店までお問い合わせください。 1. 電源コードは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。 2. 電源コードは使用する国の安全規格、電源、電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
	指定された電源仕様で使用してください。
	電源プラグは必ず製品の近くにあるコンセントに差し込んでください。 緊急時にすばやく電源プラグを抜けるよう、コンセントのそばに機器を設置してください。
	電源コードはコードクランプにはさんで固定してください。
	電源プラグの刃を根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全の場合、火災や感電の原因になります。
	電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが破損して、火災や感電の原因になります。
	電源プラグを定期的に乾いた布で清掃してください。 溜まったホコリに水分や湿気が付着して、ショートする原因になります。また火災や感電の原因になります。
	長時間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。 電源プラグにホコリが溜まり、火災や感電の原因になります。

電源コードについて

電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
- コンセントのアース端子
- 銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線
- D 種接地工事が施された接地端子

⚠ 注意

プリンターの電力要件を満たしているコンセント及びブレーカーを使用してください。
電力要件を満たしていない場合、ブレーカーが遮断する原因になります。

設置・移動について

⚠ 警告

以下の条件を満たす場所にプリンターを設置してください。
1. 水平な場所
2. 他の機器の振動が伝わらない場所
3. 湿気やホコリの少ない場所
4. 温度・湿度の変化が小さい場所
5. 直射日光が当たらない場所
6. 水などがかからない場所
7. 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
8. 電磁波などのノイズが少ない場所

換気ができる場所に設置して、作業場を十分換気してください。
インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。頭痛やだるさ、めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所で休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。

製品を梱包箱から取り出すときは、必ずビニールを外してください。
ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて製品を破損する原因になります。

本製品は子供がいる可能性がある場所には設置しないでください。

⚠ 注意

本製品を開梱または移動する場合は、必ず4人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。

短い距離の移動でも廃液タンクを空にしてください。
故障の原因になります。

本製品を移動するときは安全靴の着用を推奨します。

メンテナンスについて

⚠ 注意

清掃時は、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用し、作業を実施してください。

清掃時は、以下を守ってください。

- **クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。**
  皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- **クリーンスティックの先端に水などを絶対につけないでください。**
  プリントヘッドが破損するおそれがあります。
- **未使用のクリーンスティックを使用してください。**
  使用済みのクリーンスティックを再利用すると、プリントヘッドが故障する原因になります。
- **メディアガイドが十分に冷めてから作業を実施してください。**
  印刷直後は、メディアガイドが高温になっています。印刷後 10 分以上経過してから、作業を実施してください。

プリントヘッド周辺を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。
プリントヘッドが破損する原因になります。

クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。
油脂が付着して、ヘッドクリーニングが正常に動作できなくなる原因になります。

シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。
塗装や樹脂製カバーを傷める原因になります。

インク充てん中に、以下の操作をしないでください。

- プリンターの電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりする
- フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける
- 加圧アームを上げる
- プリンターを移動する

インクと廃液について

警告

インクや洗浄液、廃液などを取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート（SDS）に詳しく記載されています。これらの液体を取り扱う際は、必ず SDS をよくお読みください。
最新の SDS は、弊社ホームページ（https://www.mutoh.co.jp/）からダウンロードしてください。

本製品から排出される廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

作業場に火気を持ち込まないでください。
インクや廃液に引火するおそれがあります。

インクや洗浄液、廃液は、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。

注意

インクを取り扱うときやインクが付着する可能性のある作業をするとき（例：プリントヘッドやキャップ、ワイパーの清掃など）は、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用してください。

インクパックを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

インクは純正品を使用してください。
本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。この場合には保証の対象外となります。

インクは使用期限内に使い切ってください。
- 消費期限の切れたインクを使用すると、インクの吐出不良が生じたり、製品が破損したりする原因になります。
- 使用中に消費期限が切れた場合は、インクが残っていても消費期限内のインクに交換してください。
- 使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

使用中に消費期限が切れた場合は、インクが残っていても消費期限内のインクに交換してください。
使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

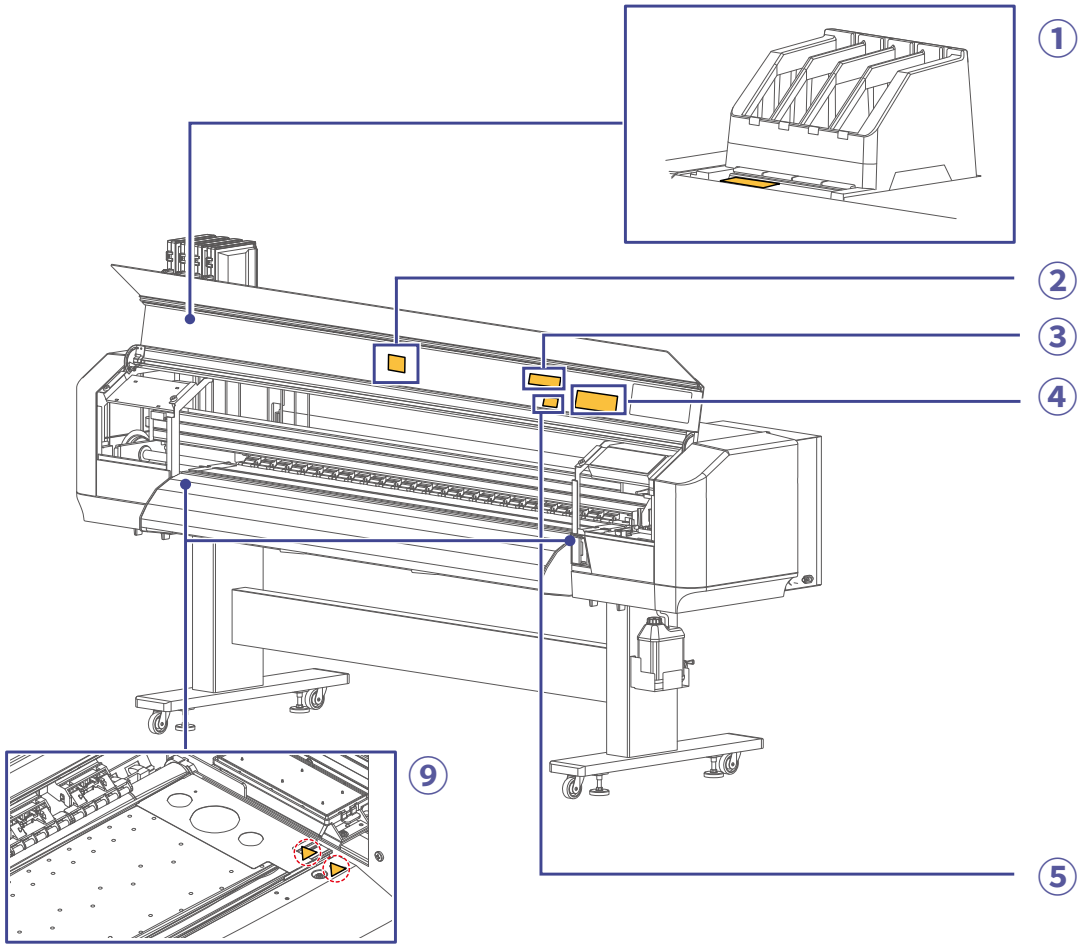
本製品から出る廃液が、生活排水や自然水系へ流出しないようにしてください。

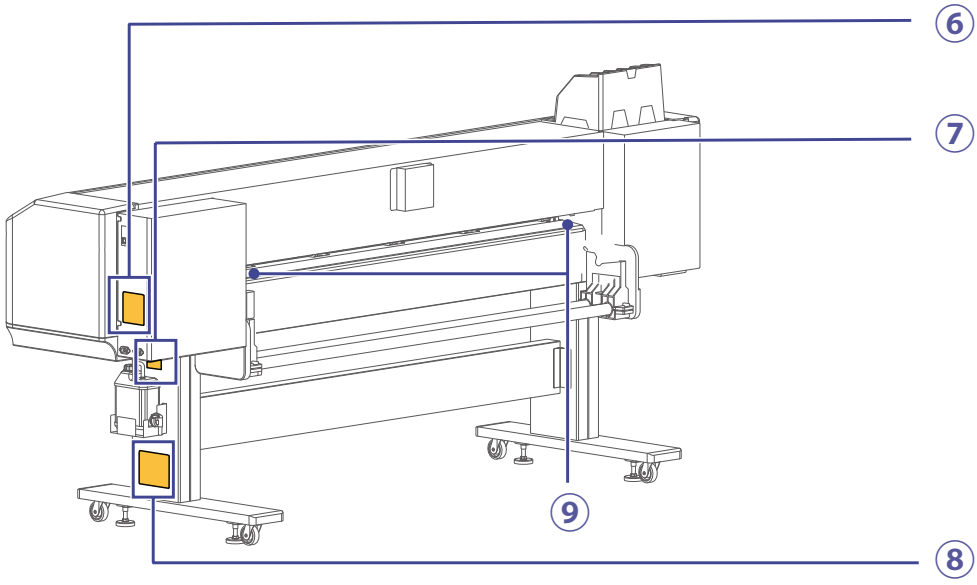
廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります

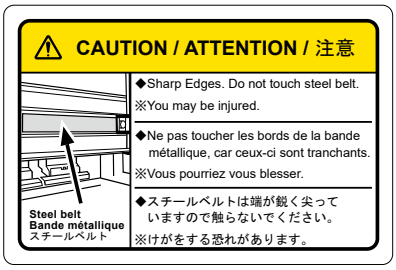
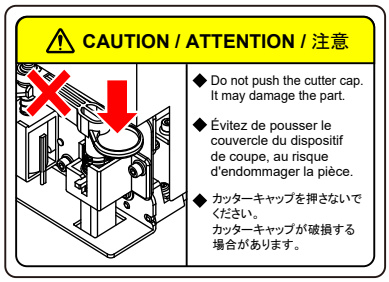
インクパックを分解したり、強い衝撃を与えたりしないでください。
インクが漏れる原因になります。

警告ラベル

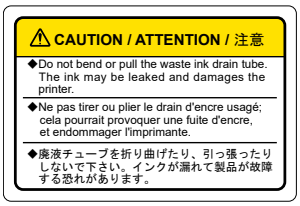
本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。
ラベルがはがれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。





	ラベル種類	名称 / 意味
①		保護具着用ラベル インクを取り扱うときは保護具を着用してください。
②		スチールベルトコーション この部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
③		カッターコーション カッター付近に指を置かないでください。カッター刃でけがをするおそれがあります。
④		フロントカバーコーション ラベルに記載されている内容を守ってください。
⑤		カッターキャップコーション カッターキャップを押さないでください。カッターキャップが破損するおそれがあります。
⑥		定格銘版 型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。

⑦



廃液チューブ取扱注意ラベル

⑧

廃液注意ラベル

廃インクは人体に影響があります。取り扱い中は保護マスク、ゴーグル、保護手袋、保護衣を着用してください。

⑨

高温注意ラベル

この部分に触れるとやけどをするおそれがあります。印刷終了後、30 分以上経過するまで触れないでください。

Note

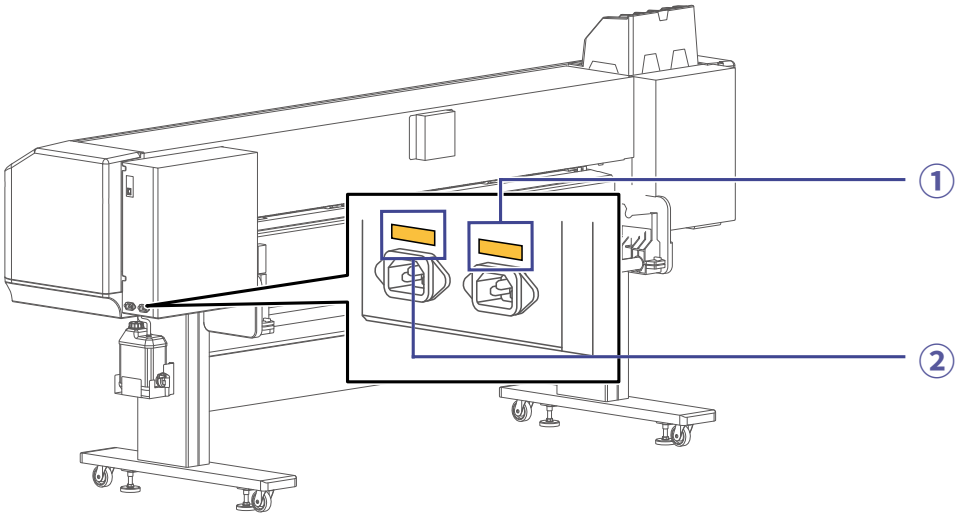
以下のマークは中国の安全規格に対応したものです。

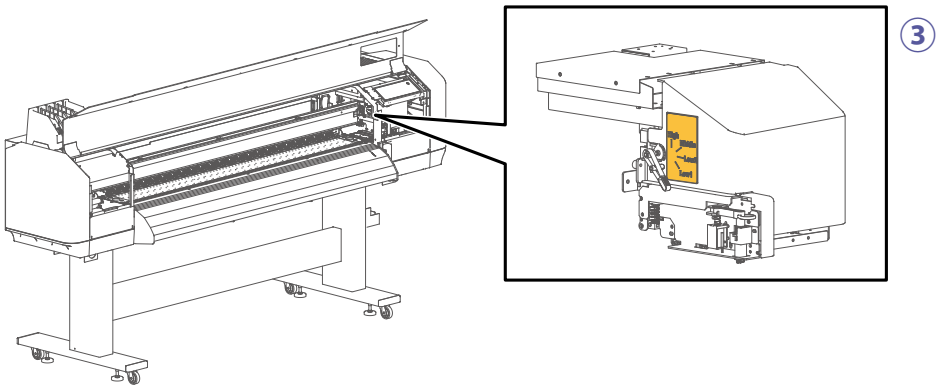
汉文	仅适用于海拔2000m以下地区安全使用。
藏文	《2000m ཡར་ ལས་ཁུངས་ སའི་དབང་ལས་ ཚད་ཡོད་ ཐོ་ སྤྱོད་ཤོག་ཏུ་ ཡིན། །》
蒙古文	“ᠭᠠᠳᠠᠷᠭᠤ᠋ᠨ᠋ᠠᠯᠪᠠᠯ᠎ᠠᠴᠠ᠋ᠭᠠᠷᠠᠭᠰᠠᠨ᠋ 2000ᠮᠠᠲᠠᠷ ᠳᠤᠤᠷᠠᠬᠢ ᠭᠠᠵᠠᠷ ᠳᠡᠭᠡᠷ᠎ᠡ ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠬᠦ ᠪᠦᠭᠡᠳ ᠵᠥᠪᠬᠡᠨ ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠨ᠎ᠡ᠃”
壮文	Dan hab yungh youq gij digih haijbaz 2000m doxroengz haenx ancienz sawjyungh.
维文	دېڭىز يۈزىدىن 2000 مېتر تۆۋەن رايونلاردىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

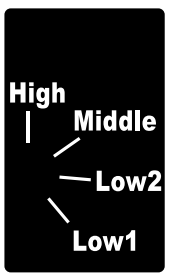
汉文	“仅适用于非热带气候条件下安全使用。”
藏文	《ཉིན་གྲུམ་ ཆུའམ་ ཉ ཆུའི་ ས་གནས་ ཤོར་བཀོད་ ལ་ ཉེན་ཁྲའི་ ཡལ་ཀ་ སྤྱོད་ཤོག་ཏུ་ ཡིན། །》
蒙古文	“ᠬᠠᠳᠠᠳ᠎ᠠ᠋ᠴᠠ᠋ᠭᠠᠷᠠᠭᠰᠠᠨ᠋ ᠭᠠᠳᠠᠷᠭᠤ᠋ᠨ᠋ ᠭᠠᠵᠠᠷ᠎ᠠᠴᠠ᠋ ᠭᠠᠷᠠᠭᠰᠠᠨ᠋ ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠬᠦ ᠪᠦᠭᠡᠳ ᠵᠥᠪᠬᠡᠨ ᠬᠡᠷᠡᠭᠯᠡᠨ᠎ᠡ᠃”
壮文	Dan hab yungh youq gij dienheiq diuzgen mbouj dwg diegndat haenx ancienz sawjyungh.
维文	غەيرى ئىسسىق بەلباغ ھاۋا كىلىماتى شارائىتىدىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

操作ラベル

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。





	ラベル種類	名称 / 意味
①		AC インレットラベル (MAIN)
②		AC インレットラベル (HEATER)
③		PG ラベル • プリントヘッドの高さを示しています。

設置前の確認

設置上のご注意

本製品は、以下のような場所に設置してください。

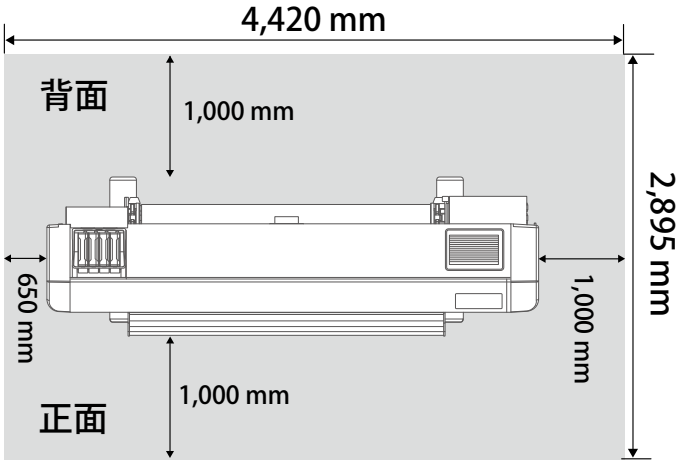
- 水平な場所
- 他の機器の振動が伝わらない場所
- 湿気やホコリの少ない場所
- 温度湿度の変化が小さい場所
- 直射日光が当たらない場所
- 水などがかからない場所
- 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
- 電磁波などのノイズが少ない場所

⚠ 注意

- 必ず本製品の重量に耐えられる場所に設置してください。本製品の総重量は 210 kg（オプション品の重量巻き取り装置を含む場合は 295kg）になります。設置に適していない場所に設置すると、転倒・転落により、けがをするおそれがあります。
- この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 作業場所は換気してください。
  インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所で休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。

最小設置スペース

本製品を設置するときは、以下のスペースを確保してください。



本体サイズ	
幅 x 奥行：	2,770 mm x 895 mm
高さ：	1,611 mm *1

*1 インクパックケース（1,000ml 専用）装着時。ただし設置スペースの高さは 1,760 mm 以上確保すること。

電源仕様

本製品は、以下の電源仕様を満たした場所に設置してください。

プリンター本体側：

- 電圧：
  - AC 100V ～ 120V ± 10%
  - AC 200V ～ 240V ± 10%
- 周波数：
  - 50/60 Hz ± 1Hz
- 電流：
  - AC 100V ～ 120V：9.0 A 以下
  - AC 200V ～ 240V：6.0A 以下

ヒーター側：

- 電圧：
  - AC 100V ～ 120V ± 10%
  - AC 200V ～ 240V ± 10%
- 周波数：
  - 50/60 Hz ± 1Hz
- 電流：
  - AC 100V ～ 120V：10.0 A 以下
  - AC 200V ～ 240V：5.0 A 以下

環境条件

本製品は、以下の環境条件を満たした場所に設置してください。

本体動作環境：

- 温度：20 °C～ 32 °C
- 湿度：40% ～ 60%、結露なきこと

本体精度保証環境：

- 温度：22 °C～ 30 °C
- 湿度：40% ～ 60%、結露なきこと

変化率：

- 温度：1 時間あたり 2 °C以内
- 湿度：1 時間あたり 5% 以内

本体保存環境：

- インク未充てん保存（6 か月以内）
  - 温度：-20 °C～ 60 °C
  - 湿度 : 20% ～ 80%、結露なきこと
- インク充てん保存（1 週間以内）
  - 温度：-10 °C～ 40 °C
  - 湿度 : 20% ～ 80%、結露なきこと
  - ただし 32 °C～ 40 °Cの場合、4 日以内

インク保存環境：

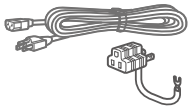
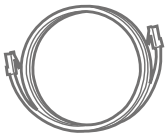
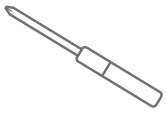
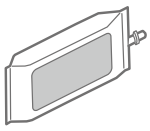
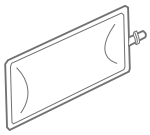
- ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー（各 1,000 ml）
  - 温度：-20 °C～ 40 °C
  - 湿度：5% ～ 85%、結露なきこと
  - ただし 40 °C下は 1 か月以内
  - 熱源、可燃物から遠ざけ、換気良好な冷暗所に保管すること
- 洗浄パック（300 ml）
  - 温度：-5 °C～ 40 °C
  - 湿度：80% 以下、結露なきこと
  - ただし -5 °C～ 5 °C、30 °C～ 40 °Cは 6 か月以内

開梱

開梱準備

開梱するまえに、以下のことを確認してください。

- 本製品の開梱、組み立て、設置作業は、必ず 4 人以上で行ってください。
- 本製品の設置と初期設定には、同梱品以外に次のものが必要です。

コンピューター：1	 電源コード：2*	 ギガビット対応イーサネットケーブル：1	メディア：1*	 プラスドライバー：1
 インクパック (1000ml)：4*	 洗浄パック (300ml)：4*			

* オプションまたはサプライ品です。

メディアの使用可能サイズは以下の通りです。

- 2 インチまたは 3 インチ紙管
- 外径Φ 200 ㎜ 以下
- 用紙幅 500 ㎜ ～ 1,625 ㎜
- 重量 30 kg 以下

警告

必ず指定の電源コードを使用してください。指定品以外の電源コードを使用すると、感電・火災の原因となります。

Important!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS：Windows 11、Windows 10
- CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上
- メモリ：8G バイト以上
- ネットワーク：ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

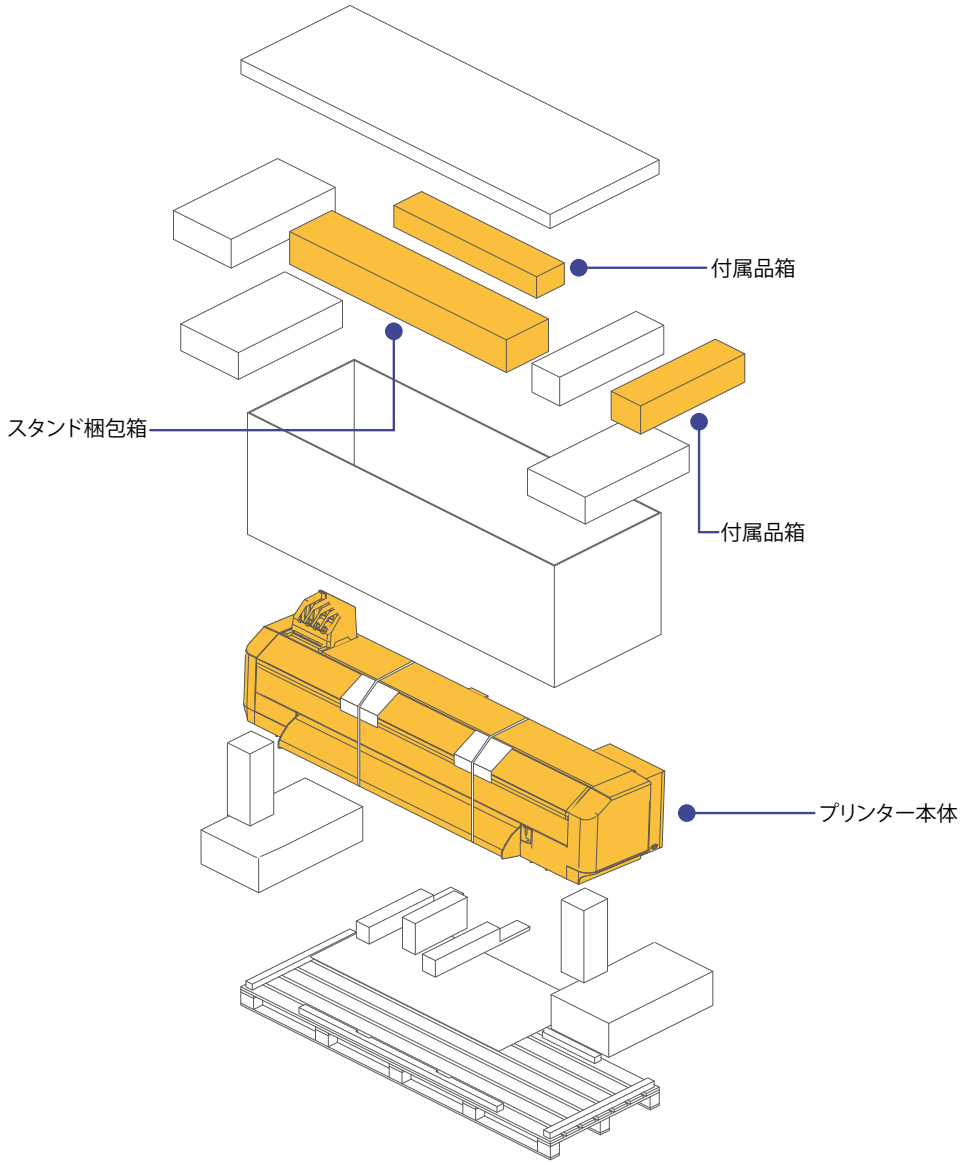
- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

プリンターの開梱

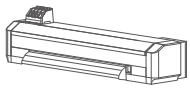
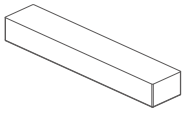
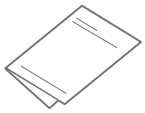
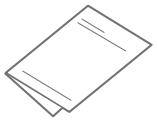
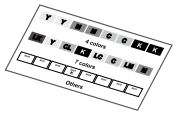
同梱品に不足がないかどうかを確認してください。

⚠ 注意

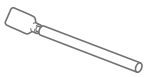
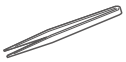
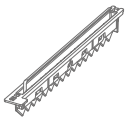
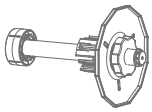
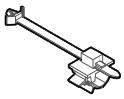
- プリンターを開梱または移動する場合は、必ず 4 人以上で作業してください。
- 本製品を梱包箱から取り出すときは、必ずビニールを外してください。ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させるおそれがあります。
- プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。



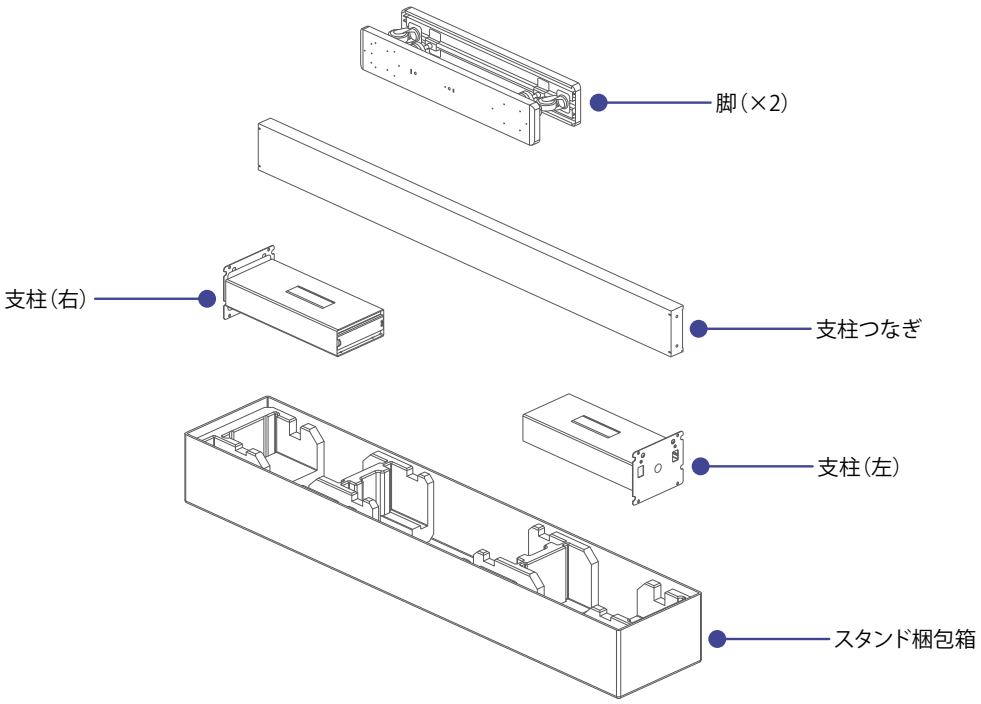
梱包の内容

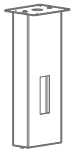
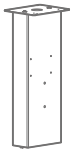
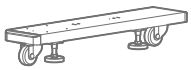
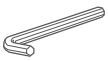
 本体：1	 スタンド梱包箱：1	 スタートアップガイド：1	ダウンロード案内シート :1	 インクケース取扱説明書：日 / 英 各 1
 インクラベル :1				

付属品箱の内容

結束バンド :1	廃液タンク :1	 クリーンスティック :50	ペーパータオル : 5	 ピンセット :1
 クリーニングワイパー（グレー、ヘッド高さ High 用）: 1	フラッシングボックス吸収材 : 5	 フランジ : 2	インクパックケース（1,000ml）:4	 コードクランプ : 2

スタンド梱包箱の内容



 支柱（左）：1	 支柱（右）：1	支柱つなぎ：1	 脚：2	六角穴付きボルト：8
バネ座金：8	 六角レンチ：1	ネジ：12	補強材：2	蝶ボルト：8
廃液タンク受け：1				

組み立て

スタンドの組み立て

以下の手順に従って、スタンドを組み立てます。

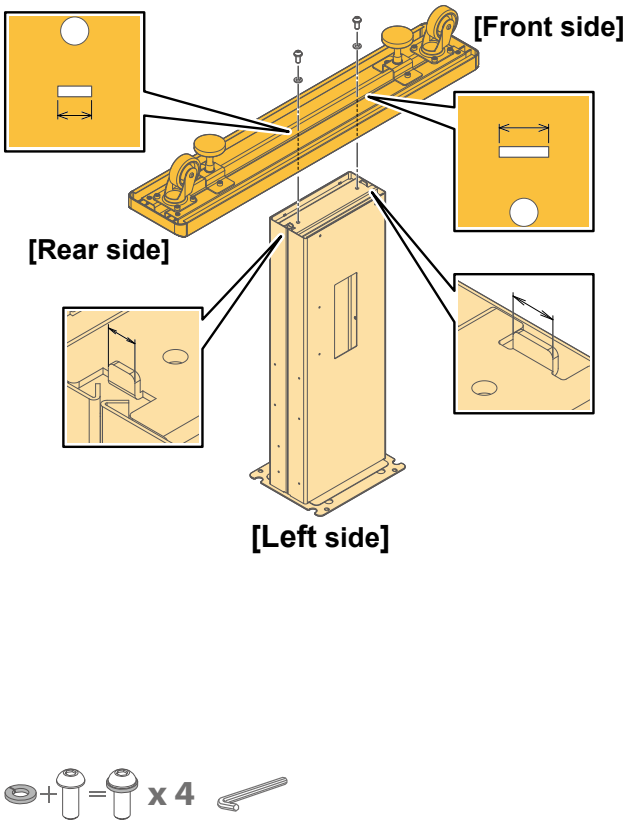
> **⚠ 注意**
>
> スタンドを組み立てるときは、必ず 2 人以上で作業してください。

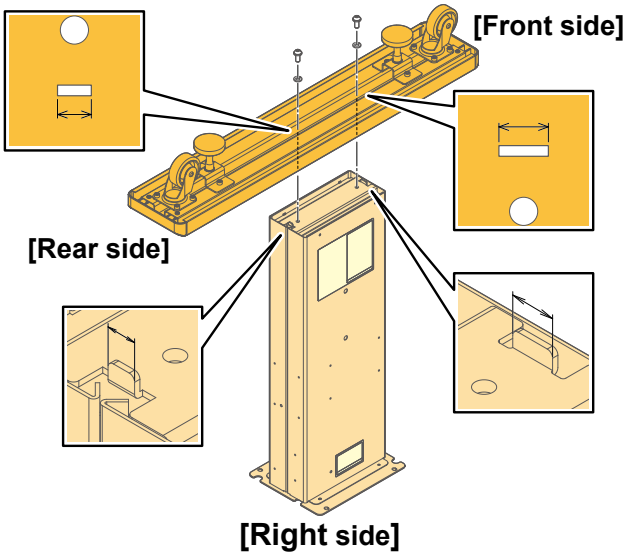
手順

1 脚を支柱に取り付けます。

a. 脚の切り欠きに支柱の突起を合わせます。切り欠きと突起のサイズが大きい方が正面側です。

b. バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト（各 2 本）で固定します。

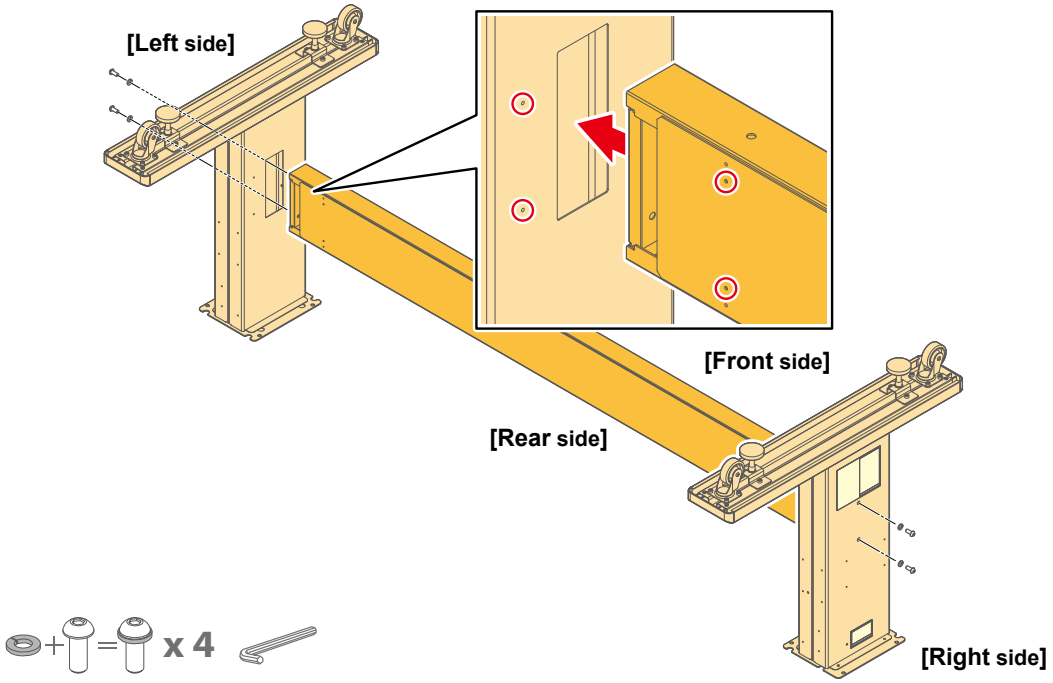




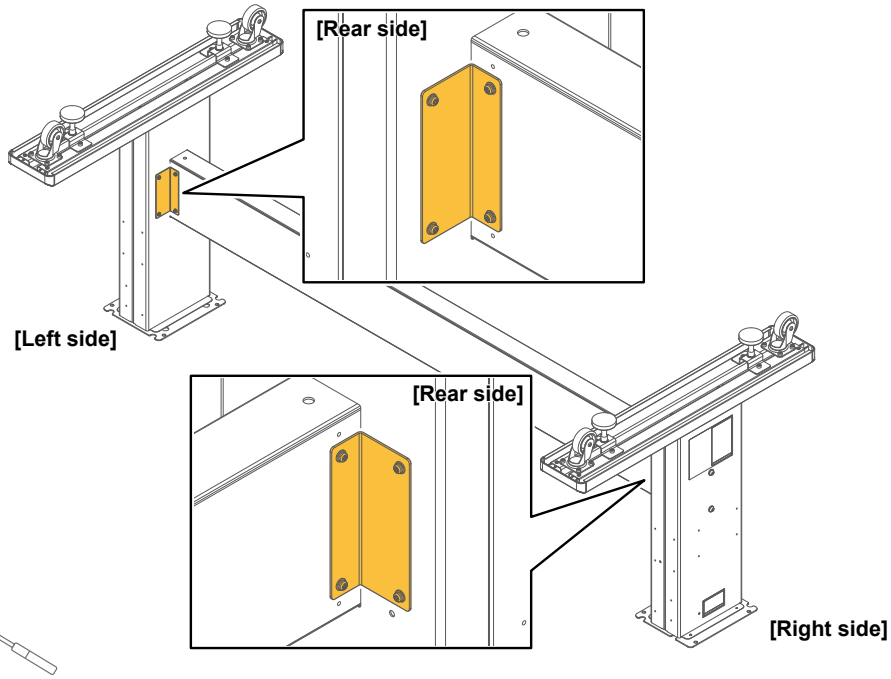
2 支柱つなぎを支柱に取り付けます。

a. 支柱と支柱つなぎにネジ穴（赤丸箇所）がある方が背面側です。支柱に警告ラベルが貼られている方が右側です。

b. バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト（各 2 本）で固定します。

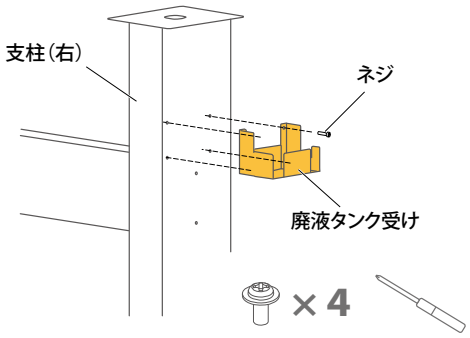


3 補強材（2 個）をネジ（各 4 本）で固定します。



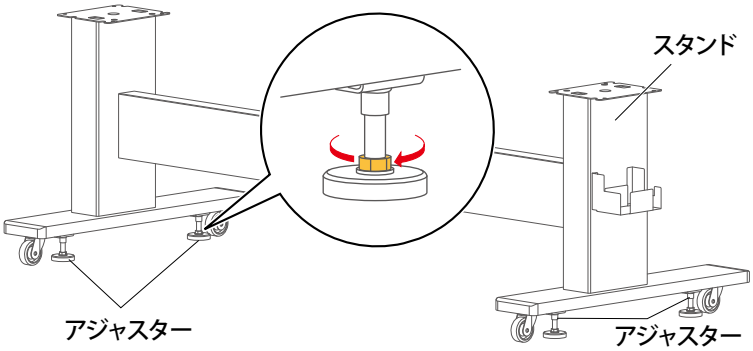
4 スタンドを上下回転します。

5 廃液タンク受けを支柱（右）にネジ（4 本）で固定します。



6 スタンドを揺らすなどして、各部品がしっかり固定されているか確認します。

7 専用スタンドのアジャスター（4 か所）を図の方向に回転させ、専用スタンドを固定します。



プリンターの取り付け

以下の手順に従って、スタンドにプリンターを取り付けます。

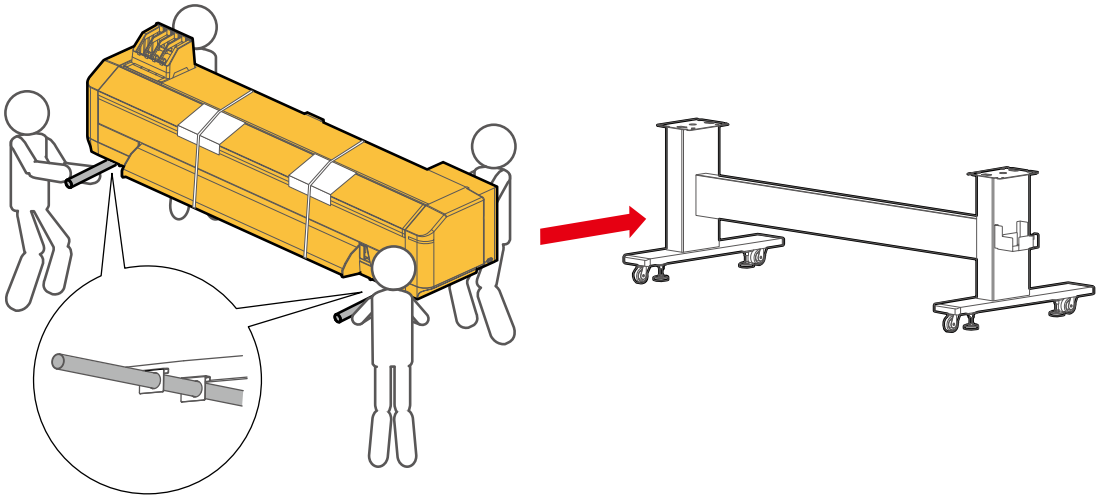
注意

- プリンターを開梱または移動する場合は、必ず 4 人以上で作業してください。
- 本製品を梱包箱から取り出すときは、必ずビニールを外してください。ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させるおそれがあります。
- プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

手順

1　**プリンターを 4 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上にのせます。**

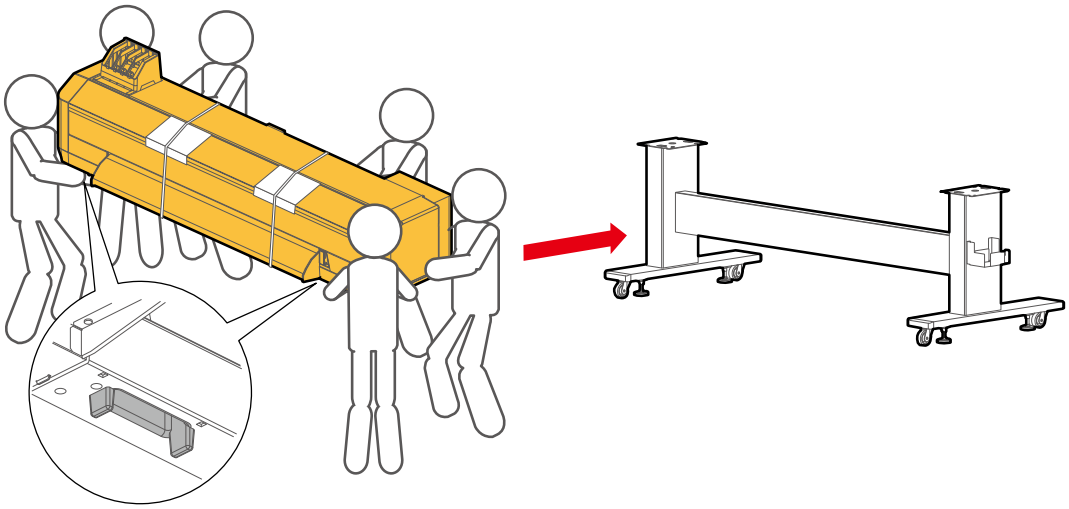
プリンターを持つときは、搬送棒をプリンター下部のガイド穴に通して、搬送棒を使って持ち上げます。



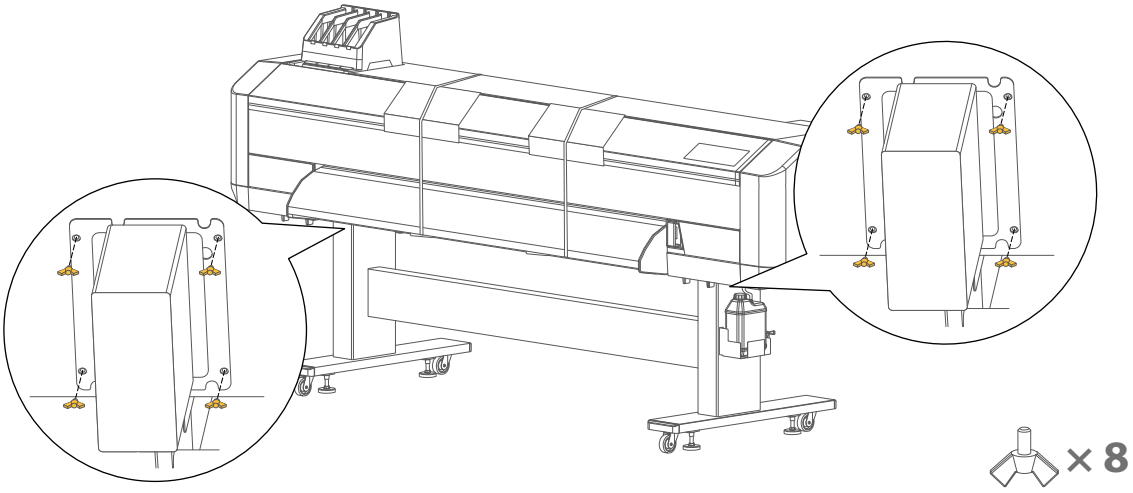
■ **（搬送棒が準備できない場合）**

a. プリンターを 6 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上にのせます。

b. プリンター前側を持つときは、下面のくぼみを利用します。



2 製品と専用スタンドを、蝶ボルト（8 本）で固定します。



廃液タンクの取り付け

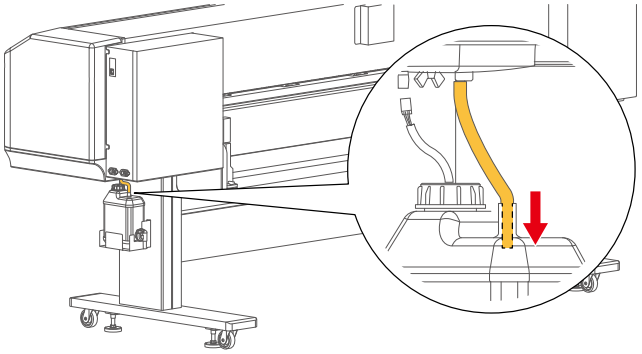
以下の手順に従って、廃液タンクを取り付けます。

手順

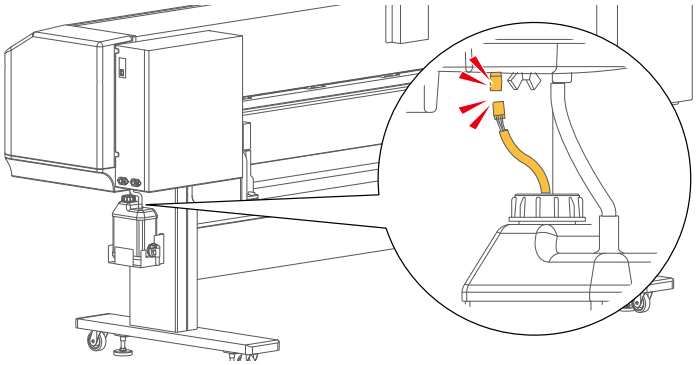
1　廃液タンク受けに、廃液タンクをのせます。

2　廃液タンクに廃液チューブを取り付けます。

廃液チューブを、廃液タンクの口に差し込みます。



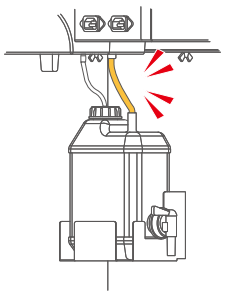
3　廃液センサーケーブルを、廃液センサーコネクタに差し込みます。



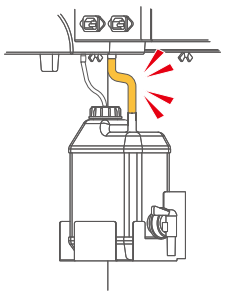
Important!

- 廃液チューブが、廃液タンクの口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。しっかりと差し込まれていない場合、インク漏れが発生するおそれがあります。
- 廃液タンクに廃液チューブを取り付けた後に、廃液チューブに折れ曲がっている箇所がないことを確認してください。折れ曲がっている箇所がある場合、インク漏れが発生するおそれがあります。

Good



Not Good

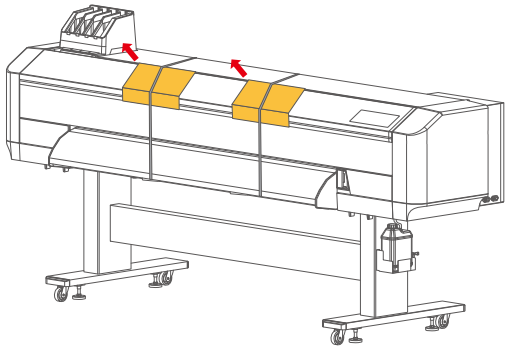


保護材の取り外し

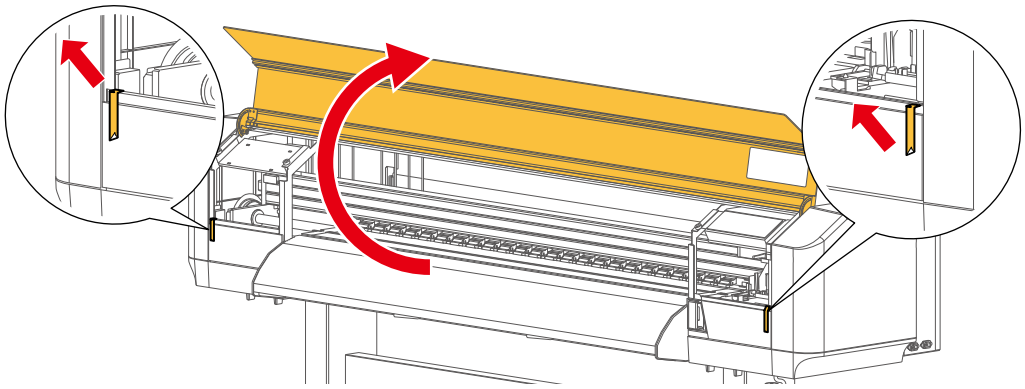
以下の手順に従って、プリンターの保護材を取り外します。

手順

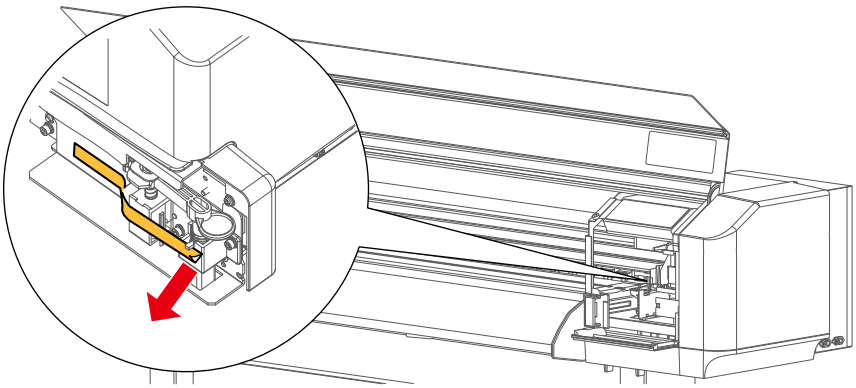
1 フロントカバーの保護材を取り外します。



2 フロントカバーを開け、メンテナンスカバーのテープをはがします。



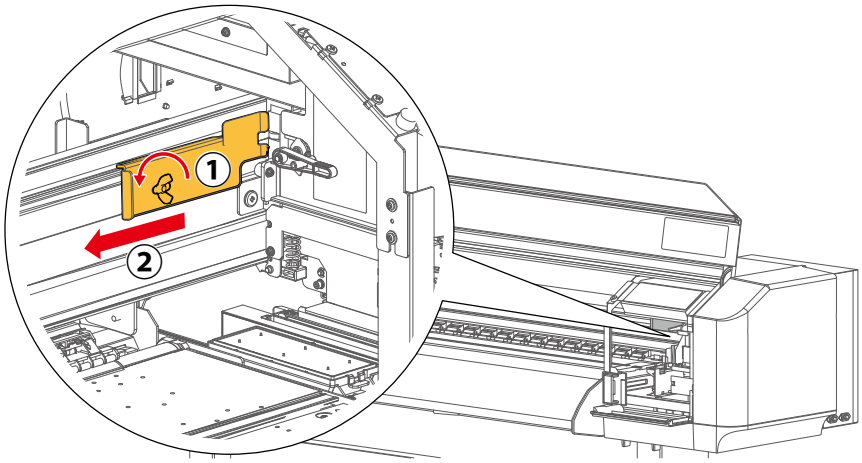
3 カッターキャップのテープをはがします。



4 キャリッジ固定材を取り外します。

a. ツマミネジをゆるめます（①）。

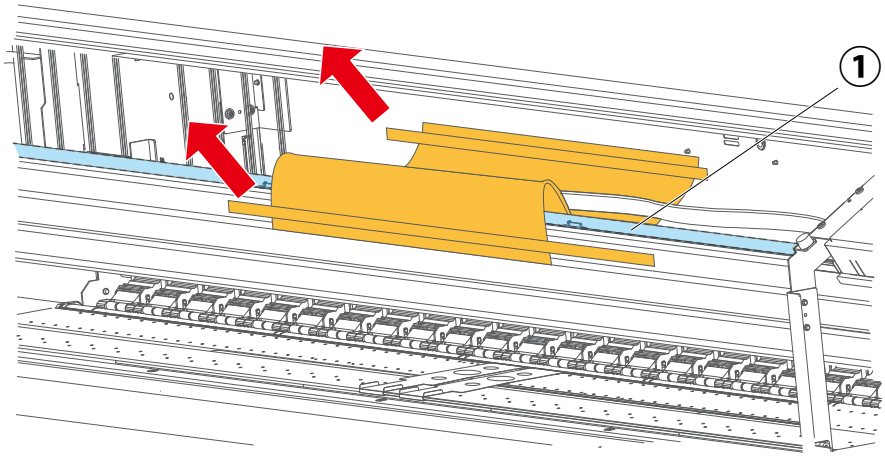
b. ツマミネジとキャリッジ固定材を一緒に本体から取り外します（②）。



Important!

キャリッジ固定材とネジは、輸送するときに再利用しますので保管しておいてください。

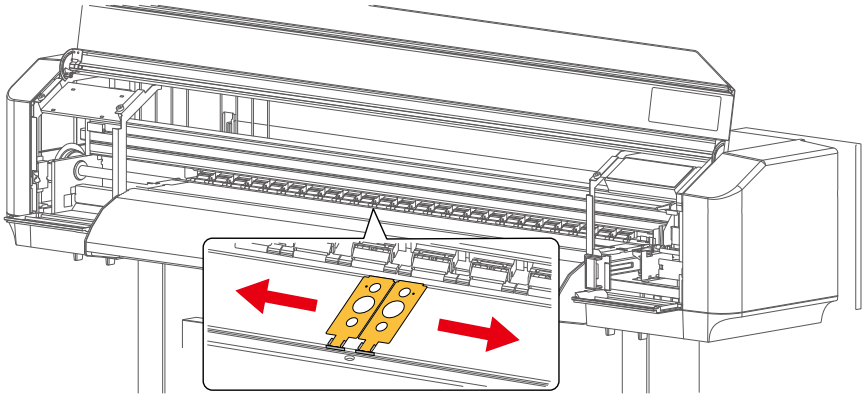
5 テープをはがし、フロントカバー奥にある保護材を取り外します。



Important!

保護材を取り外す際に、T フェンス（①：透明な部品）には絶対に触れないでください。T フェンスがゆがむと印刷品質に悪影響がでる場合があります。

6 テープをはがし、エッジホルダーを左右の端に移動します。



7 各部に貼られているテープを全てはがします。

ケーブルの接続

プリンターと電源コードの接続

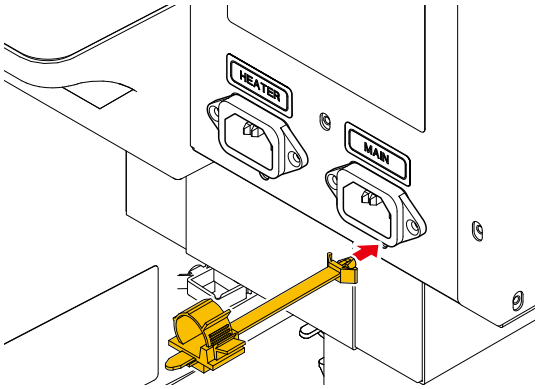
警告

すべての電源ケーブルは、同じ電圧のコンセントに接続してください。異なる電圧のコンセントに接続した場合、電気回路が破損するおそれがあります。

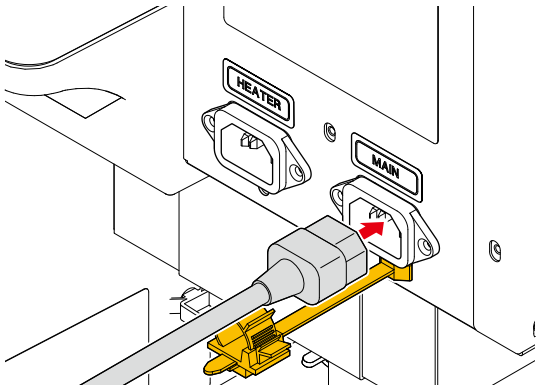
手順

1　フロントカバーが閉じていることを確認します。

2　プリンターにコードクランプを取り付けます。



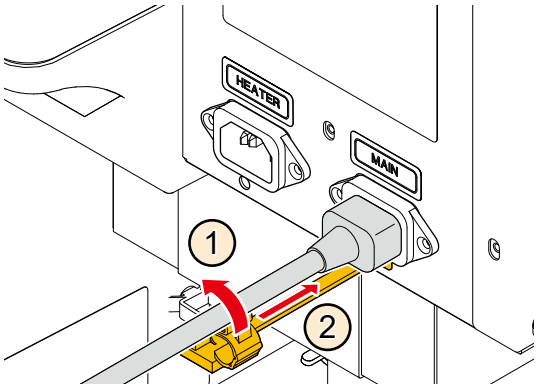
3　プリンターのインレットに電源コードを接続します。



4 電源コードをコードクランプに固定します。

a. クランプに電源コードを通して、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

b. クランプをインレット方向にスライドさせてください。

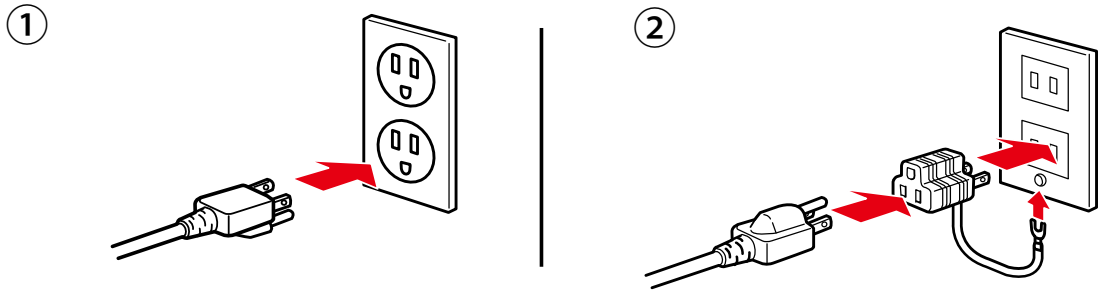


Important!

ヒーター側の電源コードも同様に接続してください。

5 プリンターにコードクランプを取り付けます。

- ①：3 芯プラグを使用する場合
- ②：3 芯 2 芯変換コネクタプラグを使用する場合



警告

- 電源タップを使用しないでください。
- 3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合は、必ずアース線を接続してください。

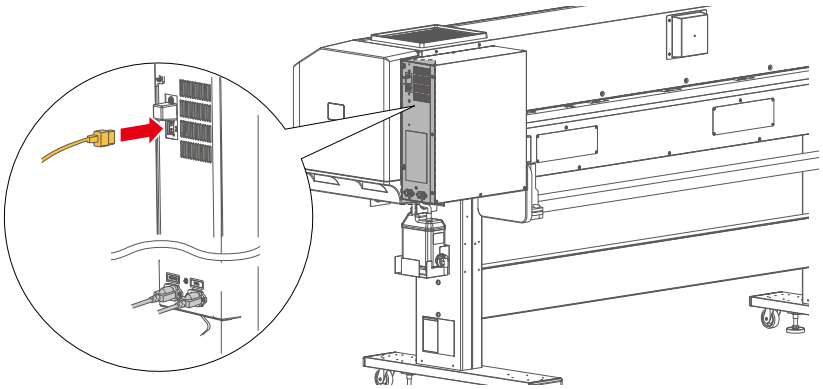
警告

本製品には複数の電源コードがあります。電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、すべてのプラグを抜いてください。感電のおそれがあります。

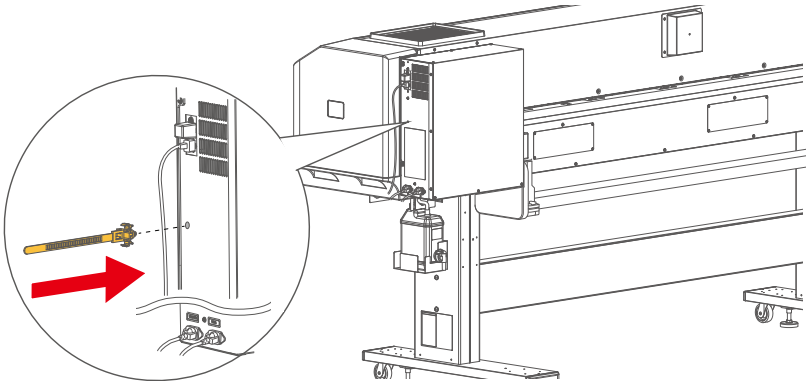
イーサネットケーブルの接続

手順

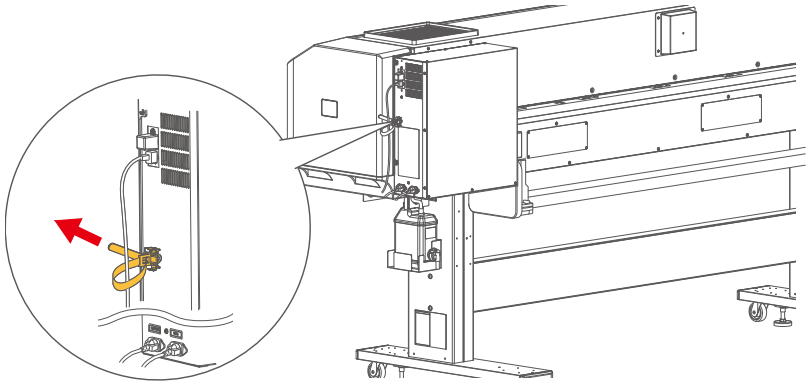
1　イーサネットケーブルをプリンターに接続します。



2　結束バンドをプリンターに取り付けます。



3　イーサネットケーブルを結束バンドでプリンターに固定します。



セットアップ

セットアップの流れ

以下のフローに従って、初回のセットアップを行います。

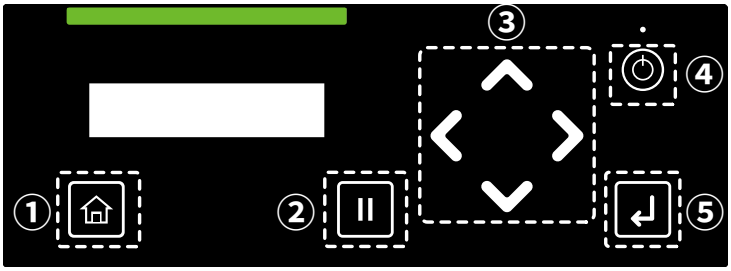
プリンターコントロールパネルの使い方

プリンターコントロールパネルはタッチパネルになっており、操作が有効なキーが発光するようになっています。

- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ：キーに触れた状態を保ちます。

キーの名称

- ①：**[Home]** キー
- ②：**[Cancel]** キー
- ③：**[∧] / [∨] / [<] / [>]**（方向）キー
- ④：電源ボタン
- ⑤：**[Enter]** キー



Step1 初期設定

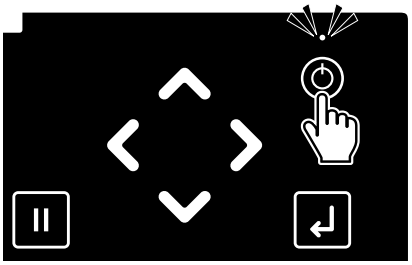
プリンターを起動して、ディスプレイ表示などを設定します。

手順

1　フロントカバーが閉じていることを確認します。

2　プリンターの電源をオンにします。

- プリンターコントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。
- 電源ボタン上部の LED および各キーが点灯します。



> **Note**
> LED が点灯したら、電源ボタンから指を離してください。

3　パネルに表示する言語を選択します。

[∧] / [∨] キーで言語を選び、**[Enter]** キーをタップします。

> **Note**
> 初回起動時は **[English]** が表示されます。。

4 温度の単位を選択します。

[∧] / **[∨]** キーで単位を選び、**[Enter]** キーをタップします。

5 長さの単位を選択します。

[∧] / **[∨]** キーで単位を選び、**[Enter]** キーをタップします。

6 本製品の IP アドレスを設定します。

- **[∧]** / **[∨]** キー：設定値を増減します。
- **[<]** / **[>]** キー：入力位置を移動します。
- 入力後、**[Enter]** キーをタップします。

7 本製品のサブネットマスクを設定します。

- **[∧]** / **[∨]** キー：設定値を増減します。
- **[<]** / **[>]** キー：入力位置を移動します。
- すべての設定値を入力してください。入力後、**[Enter]** キーをタップします。

8 本製品のゲートウェイを設定します。

- **[∧]** / **[∨]** キー：設定値を増減します。
- **[<]** / **[>]** キー：入力位置を移動します。
- すべての設定値を入力してください。入力後、**[Enter]** キーをタップします。

9 エラー発生時などに鳴る警報ブザーの動作を設定します。

[∧] / **[∨]** キーで動作を選び、**[Enter]** キーをタップします。

- **[オン]**：プリンターコントロールパネルのいずれかのキーをタップすると、ブザー音が止まります。初期値はこの設定です。
- **[オフ]**：ブザー音が複数回鳴ると、キー操作をしなくても自動的に止まります。

10 機内照明の動作を設定します。

[∧] / **[∨]** キーで動作を選び、**[Enter]** キーをタップします。

- **[オート]**：機内照明が自動で点灯します。印刷中、カバーオープン時、メディア検出中、メディアカット中、原点設定時、メディアフィード中に点灯します。初期値はこの設定です。
- **[オン]**：機内照明が常時点灯します。ただし、スリープモード中や電源オフした場合は消灯します。
- **[オフ]**：機内照明が常時消灯します。

11 本製品が初期動作を開始します。

Step2 アクティベーション

[アクティベーション　ヲ　シテクダサイ] と表示されたら、アクティベーションを行います。

アクティベーションには 2 種類の方法があります。お好みの方法をお選びください。

➔「プリンターコントロールパネルから設定する場合」P.39
➔「インターネットから設定する場合」P.40

Note

[アクティベーション ヲ シテクダサイ] が表示されているときに **[Home]** キーをタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

プリンターコントロールパネルから設定する場合

プリンターコントロールパネルに従って、アクティベーションを行ってください。

手順

1 **[アクティベーション　ヲ　シテクダサイ]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップします。

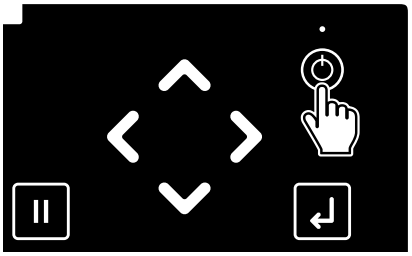
2 16 桁のアクティベーションコードを入力します。

- **[∧]** / **[∨]** キー：設定値を増減します。
- **[<]** / **[>]** キー：入力位置を移動します。
- 入力後、**[Enter]** キーをタップします。

Note

アクティベーションコードは販売店から E メールなどで入手してください。

3 **[アクティベーション　セイコウ！　プリンタ　ヲ　サイキドウ]** と表示されたら、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源をオフにします。



a. **[デンゲンシャダンチュウ]** と表示されたら、電源ボタンを離してください。

b. しばらく待ってから電源ボタンを 2 秒以上押して、再起動してください。

Note

入力したアクティベーションコードに誤りがあった場合、**[アクティベーションシッパイ！　プリンターヲ サイキドウ]** が表示されます。プリンターを再起動して再度アクティベーションを行ってください。

インターネットから設定する場合

「プリンタ・アクティベーションガイド」に従ってアクティベーションを行ってください。

Note

「プリンタ・アクティベーションガイド」とアクティベーションコードは、MUTOH Club から入手できます。
下記の URL から MUTOH Club へアクセスし、「新規登録」からユーザー登録をしてください。
https://mutoh-club.com/mutoh/guser/

Step3 初期洗浄～初期充てん

以下の手順に従って、初期洗浄と初期充てんを行います。

必要なもの

- 洗浄パック：4 本
- インクパック：4 本（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
- インクパックケース：4 個

Important!

- **洗浄パックとインクパックは、新しいもの使用してください。**
- **ヘッドの高さは出荷状態の高さ「Low1」のまま、初期洗浄と初期充てんを行ってください。**

作業前に、必ず以下をお読みください。

➔ 「製品の取り扱いについて」P.7
➔ 「インクと廃液について」P.11

1. 初期洗浄

手順

1 **[インクジュウテン　カイシ　->　Enter]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップします。

Note

上記のメッセージが表示されているときに **[Home]** キーをタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

a. **[パック　ヲ　ヌイテクダサイ]** と表示されたら、すべてのインクパックケースとスマートチップカードを取り外します。

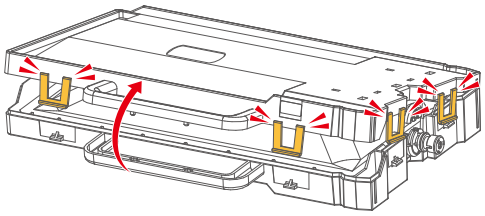
b. 洗浄を開始します。

ヘッドセンジョウチュウ

c. 排出が終わると、**[センジョウパック ヲ セット]** と表示されます。

2 洗浄パックをインクパックケースにセットします。

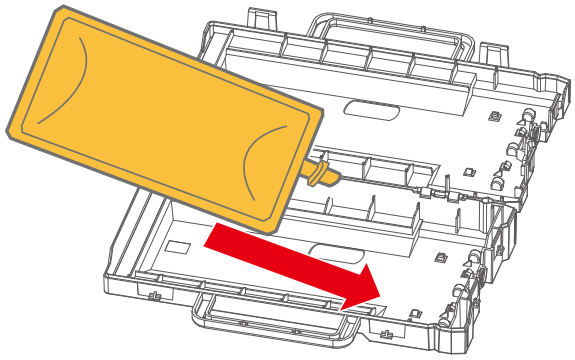
a. インクパックケースの留め具（4 か所）を外し、インクパックケースを開きます。



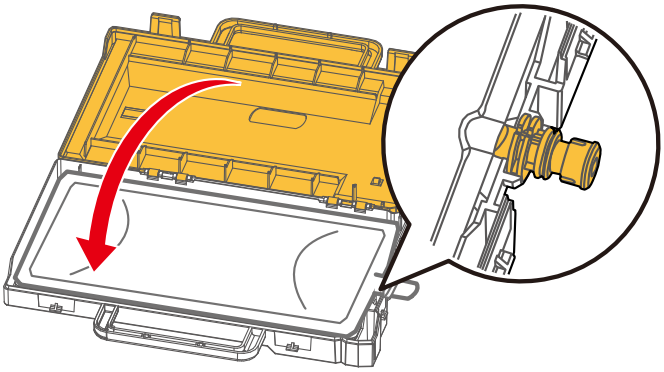
Important!

留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。

b. 洗浄パックをインクパックケースにセットします。



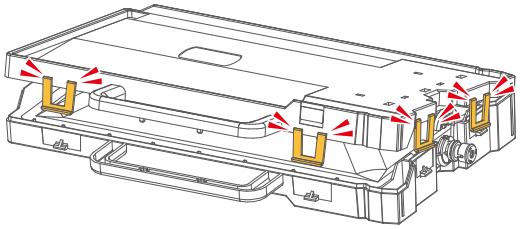
c. インクパックケースを閉じます。



Important!

インクパックの口が固定されていることを確認してください。固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。

d. インクパックケースの留め具（4 か所）をしっかりと固定してください。

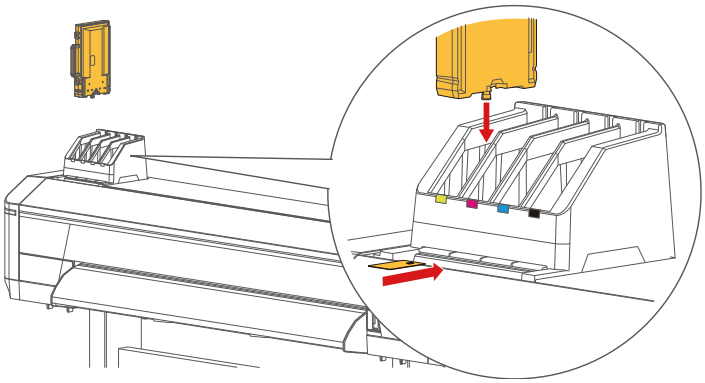


Important!

留め具がすべて固定されていることを確認してください。固定されていない場合、インク漏れの原因となるおそれがあります。

3 インクパックケースとスマートチップカードを各スロットにセットします。

a. インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。



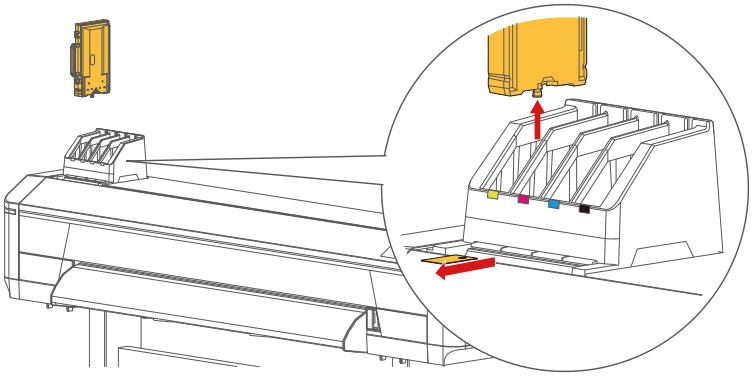
b. 洗浄液の充てんを開始します。

```
ヘッドセンジョウチュウ
```

c. 洗浄液の充てんが終わると、**[パック ヲ ヌイテクダサイ]** が表示されます。

4 インクパックケースとスマートチップカードを取り外します。

a. すべてのインクパックケースとスマートチップカードを取り外します。洗浄パックとスマートチップカードは、対応関係が分かるように保管してください。



b. すべてのインクパックケースとスマートチップカード取り外すと、洗浄液が排出されます。

```
ヘッドセンジョウチュウ
```

c. 排出が終わると、[**センジョウパック　ヲ　セット**] と表示されます。

5 Step 4 - 5 を繰り返します。

6 ヘッド洗浄中に次のメッセージが表示されたら、廃液タンクを空にします。

```
ハイエキ　ヲ　ステテ、
Enter キーヲ　タップシテクダサイ
```

➔ 「2. 廃液タンクを空にする」P.44

2. 廃液タンクを空にする

作業前に、必ず以下をお読みください。

➔ 「製品の取り扱いについて」P.7
➔ 「インクと廃液について」P.11

手順

1 廃液を移し替える容器を用意します。

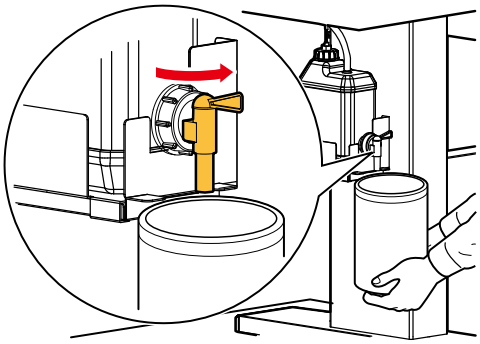
Important!

廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

2 不要なメディアなどを廃液タンクの下の床に敷きます。

3 保護具を着用します。

4 廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。

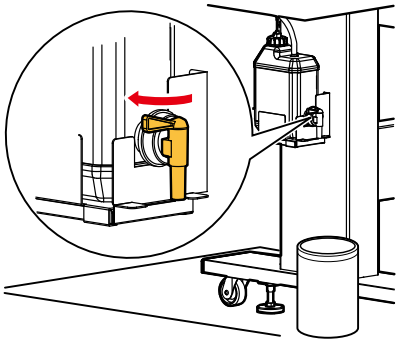


Important!

廃液バルブを開き空容器に廃液を移すときに、廃液が飛び散ることがあります。廃液バルブの先端を空容器に入れてから処理してください。

5 廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。

廃液コックの口を布等で拭き取ります。



6 廃液は産業廃棄物として処理します。

7 廃液の処理が終わったら、[Enter] キーをタップします。

```
ハイエキ　ヲ　ステテ、
Enter キーヲ　タップシテクダサイ
```

警告

本製品から出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

3. 初期充てん

注意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源コードを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- 加圧アームを上げる

手順

1　**[センジョウ シマスカ?　　イイエ]** と表示されたら、**[Enter]** キーをタップします。

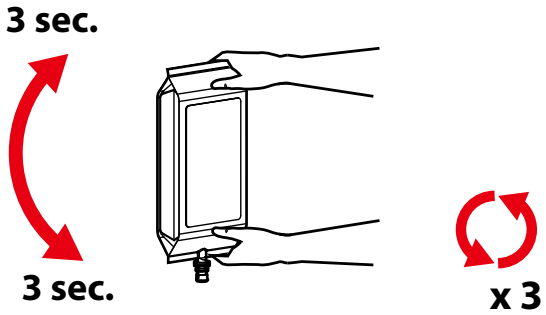
Note

再度洗浄をする必要がある場合は、**[∨]** キーで **[センジョウ シマスカ?　　ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップしてください。以降はディスプレイの表示に従ってください。
洗浄が完了すると **[インクパック ヲ セット]** が表示されます。次の Step に進んでください。

[インクパック　ヲ　セット] と表示されます。

2　新しいインクパックをかくはんします。

a. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
c. 上記を 3 回繰り返します。

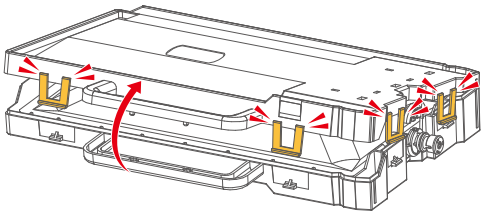


Important!

必ず新しいインクパックを使用してください。インク残量が不十分なインクパックを使用すると、初期充てん中にインクエンドとなり、再充てんによるインク損失が発生します。

3 インクパックをインクケースにセットします。

a. インクパックケースの留め具（4 か所）を外し、インクパックケースを開きます。

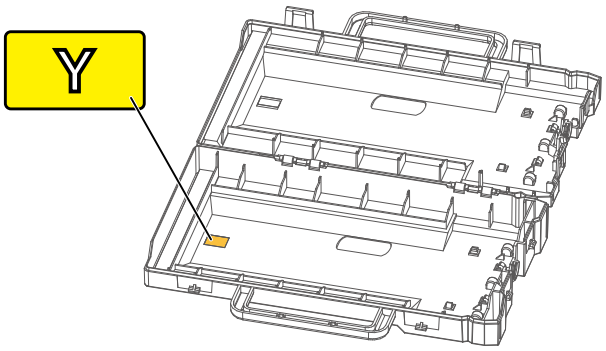


Important!

留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。

b. インクラベルをインクパックケースの内側に貼ります。

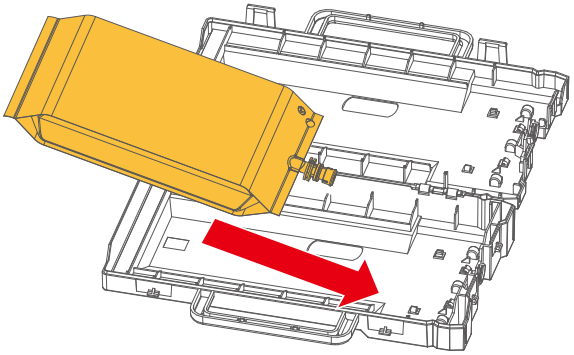
- ラベル貼り付け位置：図のへこみ部分



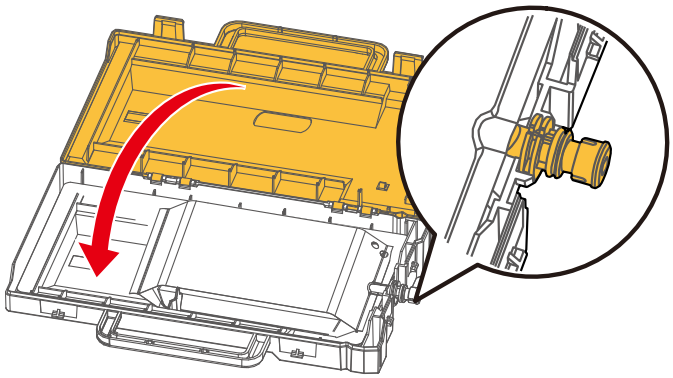
Note

インクラベルはプリンター本体の付属品の中に入っています。

c. インクパックをインクパックケースにセットします。



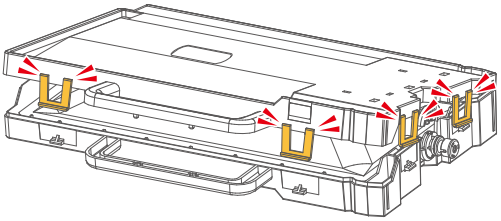
d. インクパックケースを閉じます。



Important!

インクパックの口が固定されていることを確認してください。固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。

e. インクパックケースの留め具（4 か所）をしっかりと固定してください。

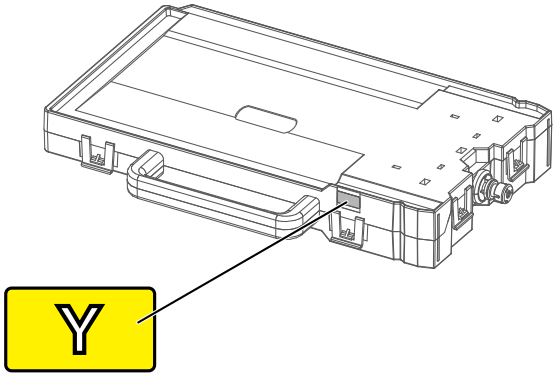


Important!

留め具がすべて固定されていることを確認してください。固定されていない場合、インク漏れの原因となるおそれがあります。

f. インクパックケースの外側にインクラベルを貼ります。ケース内側に貼ったラベルと色を合わせてください。

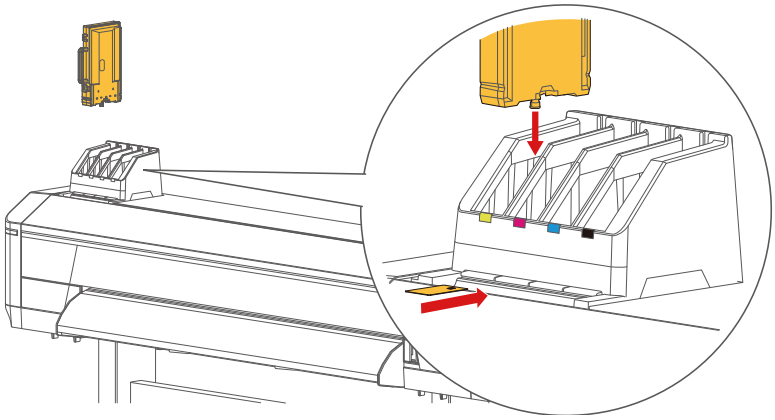
- ラベル貼り付け位置：図のへこみ部分



4 インクパックケースとスマートチップカードを各スロットにセットします。

a. プリンターのインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。

- インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。
- 奥までしっかり差し込んでください。



b. すべてのインクパックケースをセットすると、インク充てんが始まります。

```
インクジュウテンチュウ          ＊＊％
```

5 インク充てんが完了すると、[**メディア　ナシ**] と表示されます。

```
メディア　ナシ
PG：Low1
```

MSM のインストール

プリンターと接続するコンピューターに MUTOH Status Monitor (MSM) をインストールします。

コンピューターと接続して印刷を行う前に必ずインストールしてください。MSM のインストール後は、MSM の取扱説明書に従って、初期設定とプリンターの登録をしてください。

➔ **MUTOH Status Monitor 取扱説明書「初期設定」**

各種ソフトウェアやマニュアルは MUTOH Club からダウンロードすることができます。MUTOH Club からダウンロードできるソフトウェアやマニュアルは以下のとおりです。

MUTOH Status Monitor (MSM)	本製品のステータス情報を確認したり、各種設定を変更したりすることができます。テスト作画を行うこともできます。
マニュアル（プリンターとソフトウェア）	以下のマニュアルを PDF でダウンロードできます。 • XPJ-1641SR-P Ⅱ 取扱説明書「使い方とメンテナンス方法」 • XPJ-1641SR-P Ⅱ スタートアップガイド（本書） • MUTOH Status Monitor 取扱説明書

Important!

MSM は、必ず MUTOH Club からダウンロードされたものをご使用ください。

MSM のインストール方法

手順

1. 本製品に同梱の「ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い」シートを参照しながら、ユーザー登録とダウンロードを行います。
2. ダウンロードした zip ファイルを任意の場所に解凍します。
3. 解凍したフォルダを開き、setup.exe をダブルクリックします。

お問い合わせ先

本製品でお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

- TEL : 0120-174911
- FAX : 0120-184711
- E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MUTOH